

### 3.4. 等価係数

「2.2.4. (4) 等価係数」に記載のとおり、本年度調査においては等価係数を算出するための「特殊原価調査」は行わず、昨年度までに算出した等価係数を用いることとした。また、昨年度までの等価係数が存在しないサービスについては、レセプト・データの平均点数を媒介に推計を行う方法を暫定的に実施した。この推計による対応の範囲は以下のとおりである。

図表 3-19 本年度発生したサービスのうち、等価係数推計の割合

	等価係数	サービス種類数	実施件数		総点数 (実施件数×点数)	
				(構成比)		(構成比)
手術	存在する	394	50,156	87%	343,507,850	79%
	存在しない	824	7,316	13%	93,669,653	21%
検査	存在する	143	3,552,093	99%	473,075,722	99%
	存在しない	69	24,833	1%	4,359,039	1%
画像診断	存在する	12	543,031	99%	258,631,358	97%
	存在しない	5	878	1%	7,009,905	3%
合計 (手術+検査+画像診断)	存在する	549	4,145,280	99%	1,075,214,930	91%
	存在しない	898	33,027	1%	105,038,597	9%

手術、検査、および画像診断の合計で、等価係数が存在しないサービス（すなわち、推計値を用いたサービス）の割合は、実施件数ベースで1%、点数ベースで9%となった。

### 3.5. 事後調査

#### 3.5.1. 調査概要

各病院での本調査研究に対する対応可能性の検証、診療科部門別収支計算結果の妥当性の検証を目的として、調査終了後に調査参加病院 100 病院に対して事後調査を実施した。診療科部門別収支計算結果（三次配賦後の入院、外来別、診療科別の収支計算結果）を送付すると同時に、以下の質問からなる事後調査票を配布し、100 病院中 64 病院から回答を得た。概要は以下のとおりである。

##### (1) 質問

- ・質問 1：本調査の調査票（4 種類）の作成状況および提出状況
- ・質問 2：今回の診療科部門別収支計算結果を見てどう思うか
- ・質問 3：病院における診療科部門別収支の把握状況・把握方法
- ・質問 4：調査全般についての感想